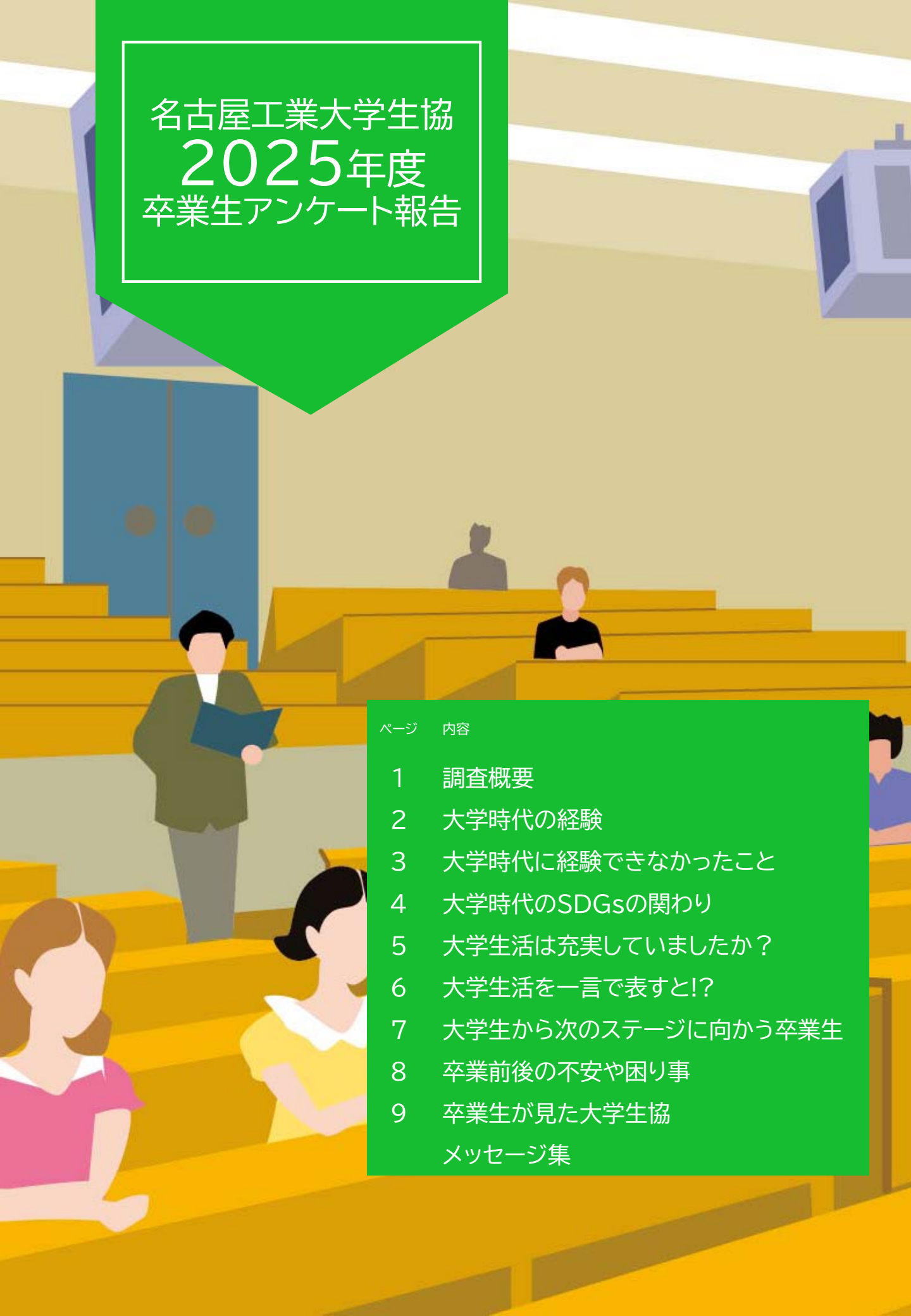




名古屋工業大学生協 2025年度 卒業生アンケート報告

ページ 内容

- 1 調査概要
- 2 大学時代の経験
- 3 大学時代に経験できなかったこと
- 4 大学時代のSDGsの関わり
- 5 大学生活は充実していましたか？
- 6 大学生活を一言で表すと!?
- 7 大学生から次のステージに向かう卒業生
- 8 卒業前後の不安や困り事
- 9 卒業生が見た大学生協
メッセージ集

調査概要(速報値)

目的	・卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートする ・卒業される組合員の声を大切にし、今後の大学生協の事業活動の改善に取り組む
方法	・Googleフォームを活用したインターネット調査 ・卒業予定学年の大学生協学生組合員へのメール連絡。チラシ、HPでの呼びかけ
時期	・2025年10月～2026年3月
回答	・東海地区で2025年度卒業予定の大学生協組合員のうちメール受信可能な方 24,975人 ・回答者は東海地区でのべ3000人見込み／名古屋工業大学の対象人数等は備考参照
備考	・卒業前後の卒業生の生活スタイルを踏まえ、3つの時期とテーマを設定し、調査を実施予定

	第1回	第2回	第3回
時期	2025年 10月1日～3月31日	2026年 2月2日～3月31日	2026年 2月24日～3月31日
テーマ	大学生活の経験	大学生活の教訓	卒業前後の困り事
内容	卒論・卒研で多忙期の ため簡単に大学生活 の経験を振り返る内容	卒論・卒研終了後 大学生活を振り返り自 由記述中心の内容	就職準備、新生活準備 に関わる内容 大学生協への評価
対象人数	24,975人	24,394人	23,826人
回答数	1443	534	425
回答率	約5.8%	約2.2%	約1.8%

2025年度卒業の大学生活と社会情勢				
年	4年制	6年制	2年制	社会の出来事や大学生活の出来事
2020		1年生		4月～コロナ禍:「緊急事態宣言」 ・大学の授業はオンライン化 ・部活・サークル・アルバイトの行動制限
2021		2年生		東京オリンピック・パラリンピック コロナ禍ワクチン接種開始
2022	1年生	3年生		ロシアによるウクライナ侵攻 円安、資源高により物価高騰 生成系AI(チャットGPT)登場
2023	2年生	4年生		5月 コロナ5類移行 イスラエル・ハマス軍事衝突 野球＝大谷翔平選手、将棋＝藤井聡太竜王の活躍
2024	3年生	5年生	1年生	1月・9月 能登半島 地震・豪雨災害 パリオリンピック・パラリンピック 野球＝大谷翔平選手50-50達成／新紙幣発行
2025	4年生	6年生	2年生	大阪・関西万博／トランプ関税／高市内閣発足 イスラエル・ハマス間のガザ和平交渉合意 『令和の米騒動』・政府備蓄米放出／物価高続く

2:大学時代の経験

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】
①大学での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
②大学外かつ国内での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
③大学外かつ国外での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
④～⑥あなたが大学生生活で1番・2番目・3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください。【複数回答】
※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ
勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

大学時代に経験したこと・経験の時期

回答者数(人)	経験内容(%)	経験無	経験有合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	卒業までに経験する予定
78										
学内	クラブサークルの加入	29.5%	70.5%	56.4%	52.6%	46.2%	33.3%	2.6%	2.6%	1.3%
	学会や研究会での発表(オンライン)	67.9%	32.1%	1.3%	0.0%	1.3%	6.4%	2.6%	5.1%	17.9%
	学会や研究会での発表(対面)	24.4%	75.6%	2.6%	0.0%	2.6%	25.6%	20.5%	24.4%	23.1%
	怪我や病気で大学に行けない期間(数日～10日程度)	71.8%	28.2%	5.1%	11.5%	10.3%	7.7%	6.4%	2.6%	0.0%
	怪我や病気で大学に行けない期間(10日間以上)	88.5%	11.5%	0.0%	5.1%	0.0%	1.3%	2.6%	0.0%	0.0%
学外(国内)	インターンシップ(数日程度)	30.8%	69.2%	3.8%	2.6%	28.2%	2.6%	33.3%	1.3%	10.3%
	インターンシップ(1週間以上)	51.3%	48.7%	0.0%	0.0%	9.0%	3.8%	25.6%	1.3%	11.5%
	短期間のアルバイト(単発:数日程度)	46.2%	53.8%	24.4%	26.9%	25.6%	26.9%	10.3%	9.0%	2.6%
	長期間のアルバイト(1カ月以上)	11.5%	88.5%	56.4%	74.4%	73.1%	76.9%	26.9%	25.6%	1.3%
	国内旅行	10.3%	89.7%	61.5%	74.4%	78.2%	80.8%	34.6%	34.6%	3.8%
学外(国外)	ボランティア活動	82.1%	17.9%	5.1%	2.6%	2.6%	5.1%	0.0%	1.3%	6.4%
	海外旅行	39.7%	60.3%	2.6%	9.0%	17.9%	26.9%	10.3%	14.1%	15.4%
	語学研修	88.5%	11.5%	1.3%	0.0%	2.6%	1.3%	1.3%	2.6%	2.6%
	留学	83.3%	16.7%	0.0%	1.3%	3.8%	1.3%	7.7%	2.6%	1.3%
	海外でのインターンシップ	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	5.1%	1.3%	2.6%
	海外でのアルバイト	93.6%	6.4%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	2.6%
	海外でのボランティア	93.6%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	1.3%	2.6%

✓ 2021年入学の人達は大学1年夏休み頃までコロナ禍の行動制限の影響を受けながら大学生生活をスタートさせました。

大学生活で一番時間を費やした事柄

大学生活で一番時間を費やした事柄／回答者数(人)	78
勉学・研究	57.7%
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	0.0%
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	0.0%
アルバイト	11.5%
社会人活動(収入を得て働く)	1.3%
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	9.0%
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	0.0%
趣味を充実させる	11.5%
余暇を充実させる(遊び)	9.0%
身体を鍛える	0.0%
特に思いつかない	0.0%
他	0.0%

大学生活で時間を費やした事柄総合順位

大学生活で時間を費やした事柄【総合順位】	換算P	順位
勉学・研究	182	1
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	10	7
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	1	10
アルバイト	90	2
社会人活動(収入を得て働く)	3	9
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	52	4
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	1	10
趣味を充実させる	54	3
余暇を充実させる(遊び)	50	5
身体を鍛える	0	12
特に思いつかない	5	8
他	20	6

(もっとも時間を費やした事柄＝3P、2番目＝2P、3番目＝1Pとし総合換算ポイントを算出)

参考資料:東海地区の暦年の変化<大学時代に経験したこと>

※東海地区内の暦年の結果(単位: %)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
クラブ・サークル加入率	79.6	68.8	73.1	74.0
学会や研究会での発表(オンライン)	32.8	30.2	23.5	19.0
学会や研究会での発表(対面)	39.8	48.0	46.1	49.0
ボランティア活動(国内)	48.0	42.2	47.1	48.0
海外旅行	37.5	47.6	49.3	53.0
語学研修	14.2	15.0	16.1	16.0
留学	14.2	16.2	16.0	16.0

3:大学時代に経験できなかったこと

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

①大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はありますか？【ある/ないの選択式】

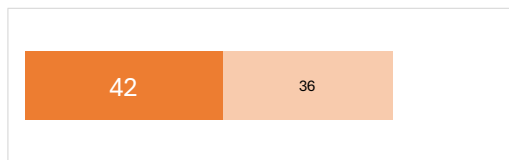
②経験しておきたかったけどできなかった経験について(その1/その2/その3)【選択式】

※選択肢:海外留学・語学研修、海外旅行、国内旅行、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、資格取得、インターンシップ、恋愛、人間関係の幅を広げる、その他

③経験できなかった主な要因は何ですか？【質問②その1～その3について最大の要因、第2の要因、第3の要因を質問【選択式】

※選択肢:コロナ禍で経験の機会が奪われた、時間に余裕がなかった、お金に余裕がなかった、「そのうちやろう」と先延ばしにしてしまった、タイミングが合わなかった、このアンケートで「経験したかった」と思い出した、その他

■ 大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はある？



名古屋工業大学の卒業生の **53.8%** がある
と回答しました

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験の内容

経験しておきたかった内容:合計	(延人)	順位
海外留学・語学研修	19	1
海外旅行	17	2
国内旅行	0	10
クラブ・サークル活動	15	3
ボランティア活動	4	9
アルバイト	7	7
資格取得	8	6
インターンシップ	6	8
恋愛	11	4
人間関係の幅を広げる	9	5

■ 経験できなかった要因

経験できなかった要因【総合】		順位
コロナ禍で経験できず	13.2%	5
時間に余裕がなかった	27.2%	1
お金に余裕がなかった	15.9%	2
気持ちに余裕がなかった	14.9%	3
先延ばしにした	14.0%	4
タイミングが合わなかった	10.1%	6
このアンケートで思い出した	2.7%	7

経験その1～その3それぞれ「最大の要因=3P、第2の要因=2P、第3の要因=1P」とし、換算Pを算出。
換算P合計における割合を示している

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験のある先輩からのアドバイス

思っているより大学生活はあっという間に終わります。
経験が1番の財産だと思うので、「やらぬ後悔よりやって後悔」で色んなことにチャレンジしてみてください。
自分はそのことに最近まで気がつけなくて後悔しているところです…
(大学院卒・情報工学専攻)

やろうと思うことがある人は同じ目標の友達を見つけて、一緒に計画を立てることで実行に移しやすいと思います！
(大学院卒・工学専攻)

何かをやりたいと思ったらすぐ行動、応募しよう。調べてるだけじゃ何も進まない！
(学部卒・電気機械工学科)

アルバイトなどで自分でお金を稼ぐのが一番良いとは思いますが、親からお金を借りることができるなら、借りてでも海外旅行に行ったほうが良いと思いました。
(大学院卒・工学専攻建築・デザインプログラム)

後悔することを、考えて行動してみることが大事。不安はあるけど説明だけ聞いてみるなど、一歩だけでも踏み出してみるべき
(大学院卒・工学専攻)

4年生になってプログラミングのバイトを始めたが、もっと低学年の頃から経験しておくべきだったと痛感している。(プログラミングそのものの能力もあるが、日本語でのコミュニケーション能力を磨く必要があると心底気付かされたため)。
(大学院卒・情報工学科)

4:大学時代のSDGsへの関わり

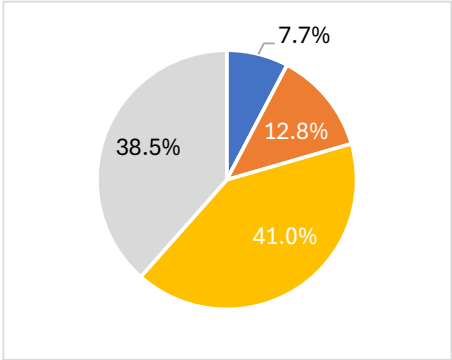
<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】
あなたはSDGsにおける 関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？
関心がなく何もなかった／関心はあったが特に何もなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

SDGsについてあなたが起こしたアクションについて
①17のテーマ(複数回答可)
②あなたが起こしたアクションを具体的に教えて下さい(複数回答可)
知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

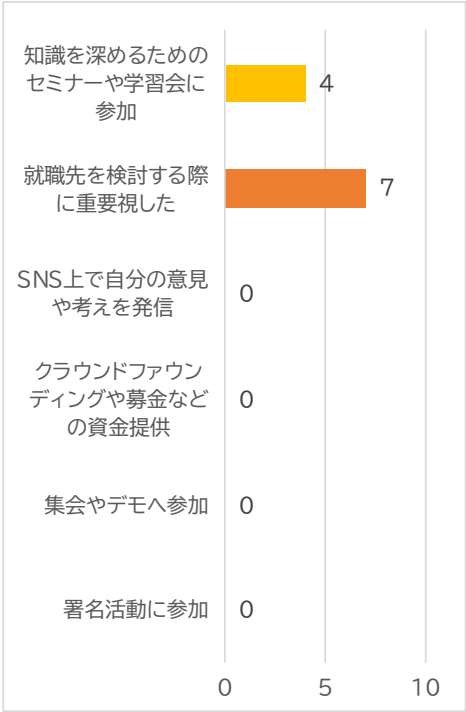
■SDGsへの関わり

	回答者(人)	78		
関心のあるものについて 自分でできる行動を起こした	6	7.7%		
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	10	12.8%		
関心はあったが 特に何もなかった	32	41.0%		
関心がなく何もなかった	30	38.5%		



■どんなテーマに対してどんなアクションを起こしたり行動したか

	有効回答者(人)※複数選択	16		
1 貧困をなくそう	0	0.0%	16	
2 飢餓をゼロに	1	6.3%	11	
3 すべての人に健康と福祉を	2	12.5%	8	
4 質の高い教育をみんなに	3	18.8%	4	
5 ジェンダー平等を実現しよう	5	31.3%	1	
6 安全な水とトイレを世界中に	1	6.3%	11	
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	4	25.0%	3	
8 働きがいも経済成長も	2	12.5%	8	
9 産業や技術革新の基礎をつくろう	2	12.5%	8	
10 人や国の不平等をなくそう	0	0.0%	16	
11 住み続けられるまちづくりを	5	31.3%	1	
12 つくる責任 つかう責任	3	18.8%	4	
13 気候変動に具体的な対策を	3	18.8%	4	
14 海の豊かさを守ろう	3	18.8%	4	
15 陸の豊かさを守ろう	1	6.3%	11	
16 平和と公平をすべての人に	1	6.3%	11	
17 パートナリシップで目標を達成しよう	1	6.3%	11	



<参考資料>
東海地区での暦年の調査結果より

✓ SDGsに対する行動はこの数年で傾向といえます。

東海地区暦年の推移(%)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
関心のあるものについて 自分でできる行動を起こした	8.5	10.4	9.6	7.5
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	24.6	24.6	19	16.9
関心はあったが 特に何もなかった	44.8	38.7	43.7	47.8
関心がなく何もなかった	22.2	26.2	27.7	27.8

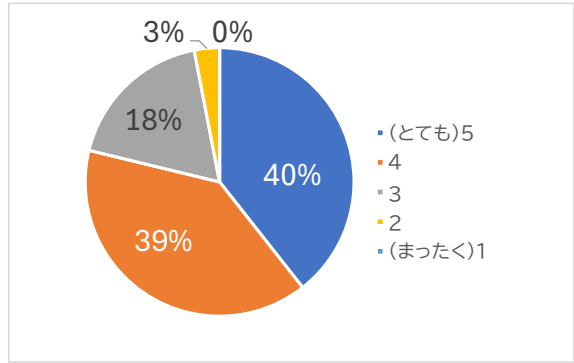
5:大学生活は充実していましたか？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法)5とても～1まったく)
- ②以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO
勉学・研究活動／部活・サークル／友人の存在／憧れ・目指す人の存在／推しの存在／恋愛／やりたいことをやれた／将来の展望が開けた／自己肯定感があがった／自分にとって価値のある成果を残せた
- ③大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験について具体的に教えてください

■ 大学時代生活はどれくらい充実していましたか？



回答数(人)	33
(とても)5	13
4	13
3	6
2	1
(まったく)1	0

■ 以下の事柄については充実していましたか？(YES/NO)

充実度1位

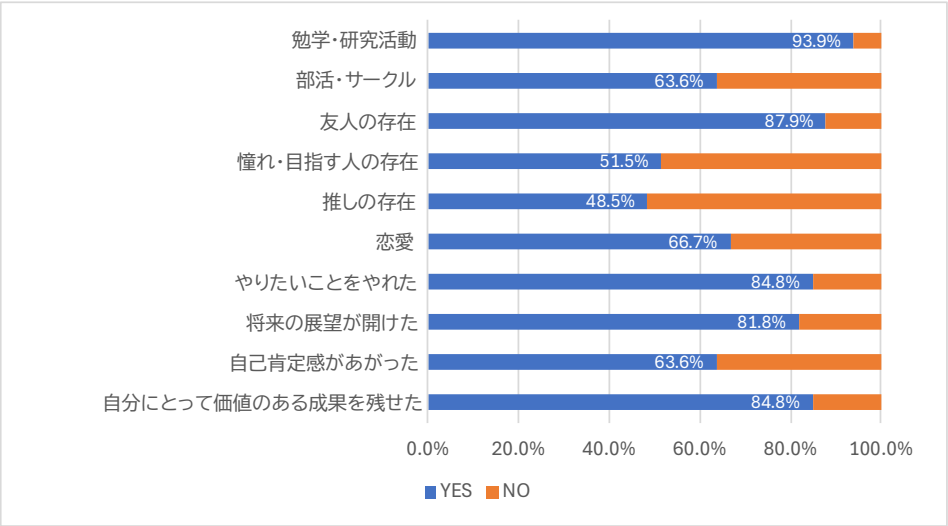
勉学・研究

充実度2位

友人の存在

充実度3位

やりたいことをやれた・自分にとって価値のある成果を残せた



■ 大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験・エピソード。そこで得た教訓。

日々勉強。分からないことを積極的に調べて能動的な活動をする。 (学部卒・生命・応用化学科)	自分から経験を積みに行く努力をした。部活のダンスで、他の大学の大学生と踊る機会や、社会人の人に教えてもらえるレッスンに積極的に参加した。スタートまではしんどいけど、始まったら素敵な経験しかないと思った。 (学部卒・生命・応用化学科)	大学院の超ハードルなスケジュールを上手く管理して、研究をしつつ課題やプライベートを充実したとき。自分のできることと、それぞれの作業にどのぐらい時間をかけるべきかの自己管理ができるようになった。(大学院卒・工学専攻)
自分の英語力に自信がなかったが、恥ずかしさを捨てて留学生と会話してみると、英語力が上昇した。何か一つハードルを越えることで見える景色がある。 (学部卒・電気機械工学科)	ストレスとの関わり方。自分の気持ちに素直になって、無理をしないこと。甘やかして大丈夫！ 様々な人との関わり方。こういう意見もあるんだ！と思うとお話を聴く。 自分の意見の伝え方。相手に応じて伝え方を変えること。(大学院卒・工学専攻)	インターンシップで他校の学生と交流できたこと。怖がって何もしないより、素直に質問して分からないことを解消した方が成長できる(大学院卒・工学専攻)

6:大学生活を一言で表すと！？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活を「ひとこと」で表してください
②「ひとこと」で表した背景を教えてください

人	運良く、周りの人に恵まれました。自分が挑戦したいことには協力してくれる友達や支えてくださる大人の方々、応援してくれる家族がいて、困った時には相談にのってくださる先生方や先輩方に出会えました。そういう人たちとの思い出を大切にしていきたいです。(学部卒・情報工学科)
成長	勉学の面に関して、より多くのことに興味を持つようになり、それに伴い成長が進んだと考えている。(大学院卒・情報工学科)
自分を知る	大学生活をすることによって、さまざまな分野の知識や異なる人と関わる機会を得ることによって、自分が何をしたいか、どんな人なのか、何に向いているかを考えるようになり、自分のキャリアや人生に向けて必要なことだと感じた。(大学院卒・工学専攻)
自由	自由度が高まった。その分、自分から行動をおこさないといけないと感じる部分が増えた。(大学院卒・工学専攻)
社会に出るまでの準備期間	海外旅行や就職活動など、社会に出るまでにやっておくべきことが全て後悔ないようにやりきる期間だと思う。自分から進めば良い期間であるし、その反対に何もしなければ無意味なただの白紙の期間なので、これを考えて計画すべきだと感じている(大学院卒・工学専攻)
手を動かし続けて、自分の輪郭ができた	大学生活で様々な刺激を受けるうちに自分に合うもの、得意なものが見つかっていった感覚があったからです。(学業、研究、競技プログラミング、バイトなど)高校生までの自分は何もしていませんでしたが、大学で個性らしきものが芽生えてきた気がしています。(大学院卒・情報工学科)
人生のシンギュラリティ	出会いや勉強、全てが自主的に自由選択となり、高校までに比べて交流が爆発的に増え、好きな分野の学習も大変だけれども苦にならない、そんな生活であった。(学部卒・情報工学科)
努力	授業がシンプルに難しい上に、研究室に配属されてからは勉強ばかり。努力しないと何も話が進まない。(学部卒・生命・応用化学科)
挑戦	やりたいことはとりあえずやってみたらよい経験になる(大学院卒・工学専攻)

7:大学生から次のステージへ向かう卒業生

<第3回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

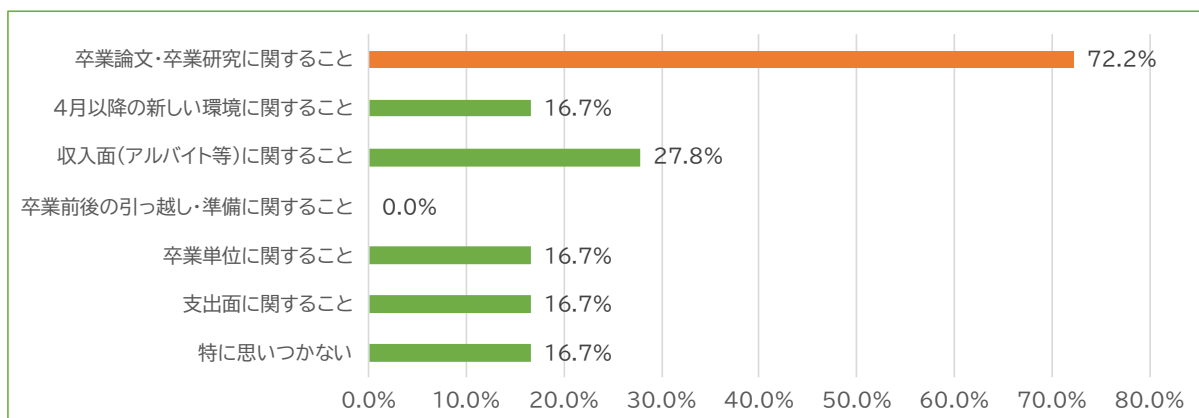
①昨年秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦勞したこと(していること)はありますか？(複数選択可)

卒業論文・卒業研究に関すること／卒業単位に関すること／支出面に関すること／収入面(アルバイト等)に関すること／卒業前後の引っ越し・準備に関すること／4月以降の新しい環境に関すること(うまくやっていけるか、など)／特に思いつかない

②上記回答いただいた事柄について、具体的にどのような不安や苦勞したこと(していること)を教えてください。

③「もっとこうしておけばよかった」「事前に知っておきたかった」と思うことがあればご記入ください。

■ 卒業学年の秋から春にかけて不安を感じたり苦勞したこと(複数回答)



■ 卒業論文・卒業研究に関する具体的な困り事と「こうすればよかった」

エピソード	こうすればよかった！事前に知っておきたかった！
計画的に卒業研究を進めるのに苦勞した。	焦って実験するよりも、一つ一つ丁寧に、先輩に聞きながら実験した方が最終的には少なくて済む。(学部卒・生命・応用科学科)
研究が進まなさ過ぎず論文がかけるかどうか不安だった	修士1年の頃から研究するべき。(大学院卒・電気機械工学科)
研究がうまくいってきちんと卒業することができるかどうか？	修士1年の忙しさ (大学院卒・工学専攻)
期日までに成果をだせるのか焦りが出て、2か月くらい休みなく実験していた。	計画立てて早めにやるべきであった(学部卒・生命・応用科学科)
研究が忙しく収入面で苦勞した。	卒業までの具体的な将来設計。(大学院卒・工学専攻)
次年度に留学するため、言語面での不安。	留学に関して、様々な支援制度の利用可否。(学部卒・電気機械工学科)

8:卒業前後の不安や困り事＜東海地区の学生の声＞

＜第3回卒業生アンケート結果＞

■ お金に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
実験をするとバイトをする時間が無くなり、金銭的に厳しい	奨学金の申請をすればよかった (国公立・学部卒・理系)
大学院生として独立して生活することを想像すると、扶養内でも可能な限り稼いでおけばよかったと思う	給付型の奨学金があること、それは課税対象ではないが、一定額を超えると保険の扶養から抜ける必要があることなどの社会システムの知識をもっと早く調べておけばよかった(国公立・学部卒・医・歯・薬・看護系)
卒業旅行が多く入り、支出が多かった。就活が忙しい時期にバイトを辞めてしまっており、4年からは雇ってくるところが少なく苦勞した。	長期バイトを続けておけばよかった。 (国公立立・学部卒・文系)
就活が終わった解放感と卒業旅行などで出費がかさんで、お金の使い方を見直すこと。	定期的に貯金しておけばよかった。もっとたくさん旅行にいけばよかった。派手髪やネイルなど学生のうちにしか出来ないことをやれば良かった(私立・学部卒・文系)

コラム:卒業学年生への奨学金制度について調べるには…

＜方法＞

①大学窓口で相談する(大学HPで奨学金に関するページを集約している大学もあります)

②WEBサイトで情報収集する

(キーワード例:「民間財団 給付奨学金 最終学年」「大学4年生 奨学金 2026」等)

※4月締切の制度も多いのでご注意ください。家計の収入が急に減少した場合は時期に関係なく随時申し込める制度もあります。大学窓口へ相談しましょう

■ 社会人生活準備に関する困った経験

エピソード	こうすればよかった！
引っ越し業者に頼んだ方が良いのか、それとも自力でやるべきなのかぎりぎりまで迷った。	卒業1年前から荷物を少しずつ減らしておくべき。売ったり、捨てたりして(国公立・学部卒・理系)
早起きの習慣がない、週5労働の不安感	早寝早起きの習慣化 (私立・学部卒・文系)
引越し費用の相場と実際にかかる費用のギャップへの不安。卒業式に向けての袴が決まらないことへの不安と苦勞があった。	先輩たちの引越しの話を聞いておけばよかった。 (国公立立・学部卒・文系)
修士論文を書いていたらいつの間にか3月になっており、3月末の引越しのために業者を探しましたが、かなり高い見積もりを出され、家族に頼りました。修士論文を書き終わった後に自動車学校に通い始めたので、本当に時間がありませんでした。	引越し前後はやることが多いのと、自分の送別会で忙しいので、とにかく早く行動しておけばよかったなと思いました。(国公立・大学院卒・理系)

コラム:大学生協を活用してスムーズな卒業準備を

■一人暮らしに関する情報

[大学生協の引越しプラン](#)／[退居準備お役立ち動画集](#)

[新社会人向けお部屋探し](#)

■社会人になる前に押さえておきたいお金に関する知識

[身近なお金のセミナー](#)

名古屋工業大学生協HP
「卒業予定の方へ」



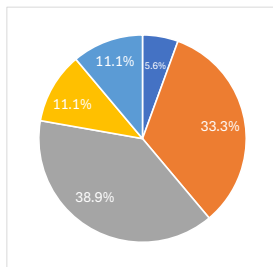
9:卒業生が見た大学生協

<第3回卒業生アンケート結果より>

【質問内容】

大学生協に対する満足度を教えてください(5件法 5とても満足～1とても不満)

回答者(人)		18	
(とても満足)5		1	5.6%
4		6	33.3%
3		7	38.9%
2		2	11.1%
(とても不満)1		2	11.1%



大学の卒業生における
生協満足度は
2025年度

3.11
でした

【質問内容】

大学生協は「4つの使命」のもと、事業活動を行っています。ご存じでしたか？

知っていた／なんとなく知っていた／今初めて知った

回答数(人)	18	
知っていた	3	16.7%
なんとなく知っていた	3	16.7%
今、初めて知った	12	66.7%



1. 学生・院生・教職員の**協同**で大学生活の充実に貢献する
2. 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に**協力**し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
3. **自立**した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
4. 魅力ある事業として組合員の**参加**を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

【質問内容】大学生協があって良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください

- ・ 平日夜でも学食営業をしてくれているのが助かりました！
- ・ 車校が少し安くなったこと！
- ・ 幅広く買い物ができた！
- ・ 関数電卓など、何を買えばよいかわからないものについては、選択肢を用意してもらえて助かった！
- ・ 食堂パスがたすかった！
- ・ 書籍購入の際のポイントバック率
- ・ 骨折した時の保険

先輩からのアドバイス

休まずに大学に行くと良いことがあります。

つらいことがあっても頑張れ。

今勉強やサークル・バイトなど打ち込んでいる人は遊びに、今遊んでいる人は勉強やサークル・バイトなどに取り組んでみること！人としての厚みが増すと思います。

人生は自己責任。高校までの自分は何かしらの支配下に置かれていたのだということを忘れずに行動せよ。

大学は人間関係など、失敗しても再挑戦して試行回数が稼げることが良いところです。人が多いので友達は今合わないと思えば別の友達と仲良くすれば良いし、色んな集まりがあるので、特定のコミュニティに居づらくなったら別のコミュニティに行けば良いです。

何か熱量を持って取り組みたいことも、時間があるので合うのが見つかるまで挑戦できると思います。(これは人間関係がベースになっていて、色んな人と付き合ってみると色んな方向性を知れます)

自分は何者かになりたくてずっともがいていたけれど、結局それ(競技プログラミング)を見つけたのは二年生の後期でした。なので、あまり焦らないで欲しいとも思います。それまで自分はずっと何かに熱くなれない自分が嫌いでしたが、もがいて良かったと思っています。

成績だいじ

後輩は様々な困難を共に乗り越えてくれて心強い存在だった。

先輩や過去問ゲッゲッを上手く使って、自分の好きな様に生きて下さい。

友達大切に。いっぱい遊んだ方がいい。

先輩と良好な関係を築け

サークルは入るべき。

AIをうまく活用していろんなことに挑戦しよう。

自分の中で何を経験するべきか優先順位をつけて取り組むべき。そうしないと結局どれも大した経験を得られないまま終わってしまう。

社会人になってから海外に行くのはそんな簡単なことではないと思います。大学生のうちにちゃんと単位を取得していれば海外に行くチャンスは社会人より必ずあると思います。計画的にお金を貯めてぜひ行ってみてください！

先輩から特に新入生／1, 2年生の後輩へ

留学は就職活動の際に強みになるし、語学力は今後も活かせるものなので時間がある学生は取り組みむといいと思います

入学前からやりたいことを明確にするべきだと思います

大学生活は思っているよりあっという間に終わるので、「時間が出来たら」「今の生活に慣れてから」と思っていると、すぐに時間が過ぎていきます。やりたいことは、今すぐ初めておくの良いです。

大学生ほど時間に余裕があって自由な時期はないですし、若い時にしか出来ないこともあると思うので、何かやりたいことがあったらその時にやってみることをおすすめします。経験はお金で買えないと思うので！

とりあえず手をつけるのが大事。あとで辞めることはいつでも出来るけど、新しくやるのは時間が経てば経つほど気が億劫になる

結局時間と余裕を言い訳に後回しにしがちだったので、やりたい！やろう！と思った時に行動するのが1番です！

大学は思ったよりも一瞬である程度やりたいことをリストアップしといて計画的にやるべきです！

自分の所属している場所や環境に満足するのではなく、能動的に自分のやりたいことを問い続ける姿勢が大切だと思う。

主に海外関係で金銭面に不安な場合は、学校の補助金を利用すればかなり費用を抑えられます。ぜひ活用してみてください。
恋愛はしなくても自分のしたいことに集中できる大学生活が送れるので、周りを見て焦る必要は全くないです！私はそのおかげで思う存分自分磨きができました

時間は今しかないので、計画的にお金を貯めながら今しかできない旅行や留学など、経験を積むことができるとより素晴らしい大学生活になると思います

海外に留学したいと思っていましたが、お金や時間のことを考えている間に卒業になってしまいました。
お金のことは、支援制度や奨学金を活用すれば良かったと今は思います。また学内の説明会など、まずは小さな行動をすべきだったと反省しています。

始めないにしても、始めるのに幾らかかるのか、何が必要なのかを始める前提で徹底的に下調べすることはしておくべきだと思う。海外旅行にしても、資格取得にしても準備なしには出来ないことだけれど、調べてみたら意外と国内旅行とあまり金銭的な差がなかったり、取得に必要な勉強時間を確保できそうだなと思うことがある。

大学2年生までにやりたいことはやっておくの良い

高校時代の規則正しい習慣が身についているうちにやりたいことはやっておいた方が良い。

思ったよりも大学生でいられる時間は少ないということ

何かをやりたいと思ったらすぐ行動、応募しよう。調べてるだけじゃ何も進まない！

やるかやらないかを迷った際は、まず始めてみるのが大事でした。案ずるより生むがやすしと言うように、挑戦してみると助けてくれる方は沢山おり、何とかできるのでやるべきでした。

やりたいことはいつかやろうではなく、今すぐ一歩進めてください！